

1. 就学前児童の保護者

問62. 子育て環境や子育て支援に関して、ご意見やご要望があればご記入ください。

区分	主な意見
経済的支援の充実	
全般	・経済的負担を軽くして欲しい。 ・子育てにかかる費用を負担して欲しい。 ・雲南市独自の減免制度は助かっている。 ・出産祝い金があると良い。 ・これからこどもを産み育てようとする人の負担がなくなるような制度を作って欲しい。
一時預かり・預かり保育	・もう少し料金が安ければと思う。 ・年に数回使える無料チケットの配布など支援があるとありがたい。
給食費	・給食費の支援の拡充があると良い。
医療費	・高校生まで医療費を無料化して欲しい。
学用品	・小学校で使う算数セットなど消耗品でないものは学校で準備して欲しい。
放課後児童クラブ	・3人目以降無料になると良い。 ・こどもの数に応じて利用料を減らしてもらえると良い。
保育料	・第3子以降の保育料無料化の対象であり、大変助かっています。 ・第3子の年齢制限をなくして欲しい。 ・0歳～2歳の保育料も無償化にして欲しい。 ・第1子、2子でも保育料が軽減されると良い。
延長保育	・延長保育の利用料が高い。
遊び場	
屋内	・土日で雨の日でも利用できる屋内スペースが欲しい。（身体を使って遊ぶことができる広い空間）
異年齢	・異年齢が一緒に遊べる施設が欲しい。
休日利用	・休日に利用できる遊び場が欲しい。
自然の遊び場	・自然の中で遊べるようなイベント、場所などがあれば親子で楽しみたい。 ・こどもたちが自由に遊ぶことができ、自然に触れることのできる遊び場があったら良い。
広場（公園）	・小さな子でも遊べる公園が欲しい。（芝が敷いてあり、遊具も安全なもの） ・遊具のある大きな公園があると良い。 ・公園に屋根が欲しい。
環境整備	・定期的に環境整備をして欲しい。 ・遊具を直して使えるようにして欲しい。 ・安全に配慮して欲しい。（フェンスの設置等）
職場環境改善	
	・職場環境を整えて、保育所や子育て支援センターなどをなるべく利用しなくて済むようにして欲しい。 ・仕事を続けられる環境が整ってくるとありがたい。
こどもの病気	・こどもの病気で休んだ時、パートだと給料がなくなるので、経済的と精神的に不安が大きい。
働き方	・働く時間の短縮など、親子が触れ合える時間を増やすための政策があると良い。 ・3歳未満の子を育てる人の在宅勤務は努力義務にも関わらず、会社側は知らない又は努力する気がないのだと思うととても残念。自治体からもっと周知して欲しい。 ・夜勤免除や時短勤務などの制度を活用できる子育てと両立しやすい職場環境であって欲しい。 ・企業に対して子育て中の親に対し様々な勤務条件を緩和するよう働きかけて欲しい。 ・労働時間をもっと柔軟にできるよう周りの理解が必要だと思う。
所得保障	・パート・アルバイトの産休中の収入を保障する制度が欲しい。

休暇制度	・ こどもの体調不良や行事で休める制度をたくさんの会社に取り入れて欲しい。 ・ 子の看護休暇をどの会社も社員が平等に使えるように充実して欲しい。 ・ 就学前の子は病気をもらいやすく、有休がすぐなくなってしまう。経済的な負担が大きい。 ・ 出産する際に勤めていた会社を辞めざるを得なかった。臨時職員だったため産休育休は取れないと言われ、とても悔しい思いをした。 ・ 妊娠期から使える休み、それを保障するもの（金銭面）があると、もっと我慢せずマタニティライフを楽しめると思う。 ・ 男性も育休を取りやすくして欲しい。 ・ 妊娠中の受診やこどもの看病なども有休で対応しなければならなかった。職場の理解がないと感じた。
理解促進	・ 職場全体の子育てへの理解（仕事量の軽減や休みの取りやすさなど）が必要。
実態把握	・ 子育て世帯へのアンケートなど行い、職場環境の実態など明らかにできると良い。
放課後児童クラブ	・ 長期休業中のお弁当対応をお願いしたい。 ・ 高学年でも利用できるよう整備して欲しい。 ・ 育休中も利用できるようにして欲しい。 ・ 児童クラブを増やして欲しい。 ・ 職員の対応に悪い印象を持っている。職員の資質向上をお願いしたい。人数も少なく感じる。 ・ 時間の延長をお願いしたい。 ・ 利用できない曜日があるのが困る。 ・ 放課後子ども教室について知らなかったが、知るきっかけになり良かった。
病児・病後児保育	・ 手続きや制度についてなど医療機関への周知をお願いしたい。 ・ 利用料金を安くして欲しい。 ・ 施設が少ない。 ・ 普段利用している保育所等に併設だと使いやすい。 ・ 定員が少ないので、もっと拡充して欲しい。 ・ 利用のタイミングが分からない。 ・ 書類や利用の条件が複雑で利用しづらい。もっと使いやすくして欲しい。 ・ インターネットで予約、キャンセルをできるようにして欲しい。 ・ 使用料の支払い方法を引き落としや振り込みにして欲しい。 ・ 施設によって利用時間が異なるが、同じにして欲しい。 ・ 病児・病後児保育の保育時間を通常の保育時間と一緒にして欲しい。
延長保育	・ 延長保育時間を延長して欲しい。 ・ 毎日のように延長保育で預かって下さり大変助かっている。 ・ 短時間利用と標準とで時間や金額が異なるのはおかしいのでは。
一時預かり	・ 申請が5日前までということで急なときに使えない。人員配置等のためだと思うが、もっと利用しやすくなると良い。 ・ 土日祝にも利用できると便利。
保育所入所要件	
短時間保育	・ 短時間保育をなくして欲しい。または産後もう少し落ち着く頃にして欲しい。
少人数保育・教育	・ 少人数の小学校区の子は同じ校区の友達を探すのさえ苦労する。同級生が何人いるかもわからず親も不安しかない。地域にどれくらいの人数がいるか公開してもらえると良い。 ・ 極小規模でどのような学びや育ちが期待できるのか。集約することも必要ではないか。 ・ 就学中に合併（統合）するのではないかと不安がある。
ひとり親世帯への支援	・ ひとり親家庭への支援を充実させて欲しい。
障がい児支援	・ 障がいのこどもでも受け入れてもらえるような施設や発達障がい に特化した施設の充実を希望する。 ・ 発達障がいを持つ子どもが増えていと感じる。保護者に特性を理解してもらえるような啓発ができると良い。 ・ 市へ相談しているが、なかなか動いてもらえなかったり、こちらから動かないと何も情報が無いという現状に困っている。

妊娠前からの支援	・子育て支援も大切だが、妊娠を望んでいる人達に対する支援も同じようにお願いしたい。 ・休暇、金銭的支援、妊婦タクシーなど、安心して妊娠期が送れるように支援して欲しい。
多胎児支援	・多胎児支援を利用している。助かることが多く感謝している。 ・事業者の選択肢が広がると良い。 ・支援対象となるこどもの人数について、年齢制限を外して欲しい。
教育・保育施設	・クラスの人員配置を増やして欲しい。
送迎時間	・交通事情によって送迎時間に間に合わない場合がある。その際の配慮をしてもらえると良い。
育休短時間	・育休取得時の利用時間の短縮は困る。 ・短時間になっても保育料があまり変わらないように思う。
土曜保育	・共働きでなくても土曜保育の対象にして欲しい。 ・手続きをもっと簡素化して欲しい。
時間延長	・利用時間を延長して欲しい。
保育の質	・施設によってこどもに対する気づきや関わり方に差が出ないようにして欲しい。
登降園支援	・近くの施設は閉園となった。登降園の支援があると良い。
入所要件	・65歳に達しない祖父母が家にいても保育所を利用できるようにして欲しい。（減点対象としないで欲しい） ・無職であっても、低年齢のきょうだいがいる場合は上の子を短時間保育でみて欲しい。
職員確保・処遇改善	・保育士の処遇（賃金、人員確保）をもっとよくしてあげて欲しい。 ・担任は正職員が対応できるよう保育士を確保して欲しい。 ・支援員、加配等適切な人員配置を行って欲しい。
こども園	・入園児童が少なくなってきており、こどもを通わせようか悩む。 ・こども園を利用したいが、保育時間や長期休みのことがあり利用しづらい。 ・こどもの人数が少ないので統合して欲しい。
建物の老朽化	・建物が老朽化している。建て替えも検討して欲しい。
子育て支援センター	・子育て支援センターの充実に地域差を感じる。意見を取り入れて人が集まる場になると良い。 ・イベントの定員が少なく参加できないことがあった。 ・明るくて気軽に行きやすい場にしてもらえたらまた行きたいと思う。 ・子育て支援センターで一時預かりをやってもらえると良い。 ・予約ではなく、誰もが参加できるようにして欲しい。 ・中長期的に見て、支援センターの新設の必要性はあったのか疑問に思う。 ・支援センターは遊び場や地域の情報を知れる場であった。1歳以上のこどもへ向けた取り組みが増えると良い。
要件緩和	・小学生も利用できるようにして欲しい。 ・土日祝にも子育て支援センターが開いていると助かる。
学校関係	・校区を自由に選べるようにして欲しい。
教育の選択肢	・私立の中学や高校がほとんどなく、高校卒業以降は自宅から通える進学先がほぼない。学力の面でも心配。
通学支援	・通学に片道40分程かかる。スクールバスの充実を切実にお願いしたい。
制服	・小学校の制服をやめて欲しい。
通学路の安全確保	・通学路を重点に歩道を整備・車道との分離化を進め、安全性を高めて欲しい。 ・地域には高齢者しかおらず、通学路に危険が多いと感じる。 ・除雪をしっかりとって欲しい。 ・街灯などが少なく防犯面が不安なので改善して欲しい。
体験活動・習い事	・親子で参加できるイベントがあれば良い。 ・こどもがスポーツや習い事を始めるきっかけの場が欲しい。（情報が少ない） ・未就学児が親子で参加できるようなイベントや教室が増えると良い。

情報発信		・ こどもと一緒に参加できるイベントや行事を分かりやすく教えて欲しい。 ・ 各種支援制度について知りたい。 ・ 今後子育てをする、こどもを授かりたいと思っている世代に対し情報発信していく必要がある。 ・ 食事に関する正しい情報を高齢世代に知ってもらいたい。
交流機会		
	こども同士	・ 卒園後、半分以上の友達と離れてしまった。小学校同士の交流の機会を作って欲しい。
	こどもと地域	・ こどもにいろいろな人と関わる機会を持たせてやりたい。
	母親同士	・ きずな教室で自身と同じような第一子のママさんたちとつながれる機会があったのは嬉しかった。
	父親同士	・ 父親同士がつながれる機会があると良い。
医療の充実		・ 小児科が少ない。 ・ 小児科、皮膚科、耳鼻科など増やして欲しい。 ・ 予防接種がすべて受けられる小児科に限られる。 ・ 雲南市立病院の小児科が午後も診察して欲しい。
公共施設		・ こども連れで行きやすい図書館にして欲しい。
商業施設		・ こども用品（服や靴等）を買い求める店があると良い。 ・ 家族で行ける飲食店が増えると良い。
住宅支援		・ 市営住宅を増やして欲しい。 ・ 家族向けの賃貸物件がもっとあると良い。 ・ 子育て世代を対象とした空き家の斡旋があると良い。
相談体制		・ 相談を気軽にできてだれにも他言されない場所が欲しい。 ・ 夕方や土日にも気軽にいけるような窓口があると良い。 ・ カウンセラーなど専門職に対応いただけると良い。 ・ 相談日についての情報発信を強化して欲しい。
男女共同参画		・ 子育てを男性・女性が平等に行うという意識になるような環境づくりが必要。 ・ 父親も子育てに主体的になるような働きかけがもっと欲しい。 ・ 育児家事に男も女もないことの周囲の理解が必要。 ・ 「母親学級」だけではなく、父親メインの「父親学級」があっても良いと思う。
アンケート		
	方法	・ 答えるのに時間がかかりすぎる。やり方を見直して欲しい。 ・ 紙媒体はやめて電子化して欲しい。 ・ こどもが2人以上いると回答に時間がかかる。共通する項目とこども一人一人の項目とで分けた方が良い。
	結果の反映	・ 回答しても、これまで意見や要望が反映された改善があったとは思えない。
	設問	・ 理想のこどもの数についての設問は、不妊治療している者にとっては辛い内容だと感じた。 ・ もっと分かりやすい質問、答えやすい選択にしてもらえると解答がしやすいと感じた。
全般		
	給食	・ 給食をオーガニックに向けて進めて欲しい。地産地消（できれば無農薬）率をより高く、調味料も余計な添加物の入っていないものにするなど。
	乳幼児健診	・ 10ヵ月検診から1歳半まで検診がないので1歳くらいでもして欲しい。
	切れ目ない支援	・ 出産して間もない頃は保健師の方が家庭訪問をして様子を把握してもらえるが、その時だけでその後何もないのが不安。 ・ 外部の子育て支援を利用したいが、事前登録や普段利用しない所に預けるのは不安がある。普段から付き合いのある施設で利用できるようになると良い。

支援制度	・ 罪悪感を感じずに仕事と両立ができる制度を作って欲しい。 ・ 仕事と子育てを両立できる制度や支援を強化して欲しい。 ・ 保育所、児童クラブの開所（開設）時間を延長して欲しい。 ・ 急な予定等の際にも預かってもらえる施設があると良い。 ・ 病気の時のフォローを充実させて欲しい。 ・ 核家族だと産後のサポートが足りず大変だった。24時間体制でサポートしてくれる制度や施設が増えると良い。 ・ 保育園留学等の導入、そこから定住へつなげるなど、先に続くような環境、支援の充実があると良い。
子育て支援施設	・ 子育て支援施設が複数あって違いが分かりにくい。（どこであっても同じような支援が受けられると良い） ・ 土日祝、夜間に開いている子育て施設があると良い。 ・ こどもを預けることができる施設が増えると良い。
子育てと仕事の両立	・ 子育てと仕事の両立が難しく、どちらかを諦めないといけないと感じる。 ・ 仕事と子育てを両立できる制度や支援を強化して欲しい。
ファミリー・サポート・センター	・ 登録はしているが、必要なのは急な用事の時が多く、その際に知っている方が対応していただけるかどうかかわからず不安なため利用していない。 ・ 対象外地域の対策をお願いしたい。 ・ 助かる反面、利用料が高くなかなか利用しづらい。
居場所	・ 塾や習い事までの時間に過ごせる場所・施設（軽食付き）などがあれば、通えるこどもも増える。学力向上の底上げにもなるのではないかな。 ・ 送迎の仕組みがあると良い。
地域の理解	・ 子育て世代が子育てに注力できるよう、地域の理解をお願いしたい。 ・ こどもの個性（発達やトランスジェンダーなど）に関する意識が向上すると良い。 ・ 移住者が地域で孤立しないよう配慮して欲しい。
発送文書	・ 書類を少なくして欲しい。

2. 小学生児童保護者

問55. 子育て環境や子育て支援に関して、ご意見やご要望があればご記入ください。

区分	主な意見
経済的支援の充実	
全般	・医療費の無償化はとても助かっている。 ・雲南市の支援の手厚いと感じる。 ・経済的支援をもう少しバックアップして欲しい。（本当はもう1人産みたい） ・年代が上がるにつれ経済的負担は大きくなるので支援があると良い。 ・社会としてこどもが今後必要と考えるなら、支援をもっと充実させるべき。 ・こどもを雲南市で育てると生活が豊かになるような政策を打ち出して欲しい。 ・経済的なことにより高校の選択肢が狭まる。 ・育児と介護が重なり経済的にも身体的にも負担が大きい。
負担感	・非課税世帯や、ひとり親じゃなくても生活が苦しい家庭があることを知って欲しい。 ・子育てに限らず、生活の向上を願う。 ・3人目が欲しいが経済的に戸惑いがある。 ・物価高騰で生活費の増大や、学費、共済、住宅ローン等経済負担が大きく、今後が不安。
手当等の充実	・福祉医療、児童扶養手当の年収限度制限額を上げて欲しい。 ・こども手当を増やして欲しい。 ・こどもの人数に関係なく手当して欲しい。
高校の給食	・高校でも給食を行って欲しい。
通学支援	・学校までの距離が遠い家庭に支援して欲しい。
出産祝い金	・出産祝い金が充実すると良い。
奨学金	・無返還奨学金制度があると良い。
ひとり親世帯への支援	・手当を充実して欲しい。
給食費無償化	・給食費の無償化を実現して欲しい。
学用品	・服や制服のリサイクルがあると良い。 ・学用品や制服等が高額で負担が大きい。 ・学校で買わなければいけない物品が多い。あまり使わない物（算数セット・辞典（重たい為））は、学校で用意して欲しい。
医療費助成	・高校生の医療費も無償にして欲しい。
大学進学	・3人以上のこどもに対する大学授業料支援の国の政策はあまりにひどすぎる。2人のこどもを持つ親が一番経済的負担が重い。
多子世帯支援	・多子世帯への金銭的支援をして欲しい。支援を充実して欲しい。
放課後児童クラブ利用料	・放課後児童クラブの利用料が高い。 ・物価高騰等により児童クラブ利用料などが家計を圧迫している。
保育料	・第1子と2子との年齢が離れており、2人の保育料が掛かり負担が大きい。
遊び場	
全般	・こどもが安心して遊ぶことができる場所がもっとあると良い。
屋内	・天気に関わらず、休みの日も利用できる施設があると良い。 ・雨天時に屋内で遊具で遊べる施設があると良い。有料でも使いたい。
広場（公園）	・ボール遊びなどが自由にできる広場があると良い。 ・外で自由に遊べる公園を作って欲しい。
年齢	・異年齢と一緒に遊べる施設があると良い。 ・小さい子が集える公園が欲しい。 ・小学生でも遊ぶことができるような施設を増やして欲しい。
環境整備	・遊具の修繕をして欲しい。 ・撤去したら代わりのものを入れて欲しい。 ・使える遊具や環境整備をして欲しい。

職場環境改善	
全般	・安心してこどもを預けて仕事ができる環境をまち全体で作っていく必要がある。
雰囲気づくり	・育児休業や有休休暇の取得により周りに負担がかからないよう、職場がフォローできる環境にして欲しい。 ・職場環境や雰囲気が子育て（特に核家族）に対しめたくつらい思いをしたことがある。子育てしやすい雰囲気づくりを様々な職場へ働きかけて欲しい。 ・事業所によって、休みにくい、休暇をとりにくい所がたくさんある。 ・こどもが病気の時、休みやすい職場だと良い。 ・誰もが子育てしやすくなるような対策をどの職場でも検討していくべき。
制度拡充	・労働時間短縮制度が拡充されると良い。 ・学校行事で休む場合は特別休暇等の制度が欲しい。
企業支援	・資金面で体力がない企業への資金補助があると良い。
支援者の処遇	・子育てを支援してくださる方にも安定した雇用体制をつくって欲しい。
働き方	・こどもとの時間を優先にしながらも、短時間だけ仕事に出て働けるような環境があれば、経済的負担も精神的負担も軽減されて良い。
子育て施策	
全般	・雲南市はとても子育てしやすい環境だと思う。 ・雲南市は他市と比べて、こどもを育てやすく、過ごしやすい市だと実感している。 ・楽しく子育てできる環境になると良い。 ・他の市町村と同じ事をやってもこどもは増えない。雲南市でこどもを育てたいと思うような施策を行い、移住者が増えると良い。 ・雲南市ならではの子育て支援に期待している。 ・祖父母の支援が受けられる家庭ばかりではないことを理解して欲しい。 ・子育てしやすい雲南市を目指し取り組みを続けて欲しい。 ・昔のやり方に固執しているように見える。 ・こどもにもっとお金を使うべき。 ・雲南市内の比較にとどまらず、もっと広い範囲で捉え、子育て施策を打ち出して欲しい。 ・様々な人と関わる機会が多くなると良い。 ・本当に必要な人が、必要な支援を受けられるようにするべき。
こども中心	・制度・サービスの充実が親のメリットになるが、こどもにとってはデメリットになることもある。こどもを中心に環境を整えて欲しい。 ・制度やサービスの充実も大事だが、それによって、こどもへの鯨寄せがこないかを一番考えるべきだと思う。 ・こどもが自らの力で「選ぶ」機会を増やし、自分の考えを持つきっかけづくりを増やして欲しい。
地域	・古い価値観、子育て神話に養育者が苦しさを感じる人が多い。子育てしやすい社会にするためには地域全体で学んでいく必要がある。 ・他人だけど家族のような地域になると良い。 ・地域のつながりを大切にしたい子育て環境を大事にしたい。保護者も努力したい。 ・地域の方に支えられてこどもも成長しており感謝している。
学習会	・こどもの育て方に悩んでいる。子育て、親の関わりなどの講演などをもっと開催してほしい。その情報を分かりやすく発信して欲しい。
情報発信	・いろいろな支援があることをもっと伝えて欲しい。（意外と知らないことが多い） ・支援活動や市のイベント等がもっと手軽で身近に受け取れたら良い。
子育て支援センター	・支援センター使用を就学前ではなく低学年（1～2年）までにしたい。（一緒に遊べない為）
産後ケア	・回数を増やして欲しい。宿泊できる施設を増やして欲しい。
他世代交流	・こどもが高齢者や地域と交流する場・機会があると良い。
放課後児童クラブ	
	・こどものことをよくみてもらえて安心している。相談もしやすい。
整備	・定員の関係で放課後児童クラブにこどもが入れず不安だった。放課後児童クラブが必要な家庭は多い。 ・放課後児童クラブを増やして欲しい。 ・小規模地域では慣れない近隣の施設を利用するしかなく不便。
高学年利用	・高学年でも利用できるようにして欲しい。
スタッフの育成	・感謝の気持ちがある一方、スタッフの言動・態度に不信感を抱いている。 ・危機管理体制が甘く怖いと感じる。一度怪我をしてから怖くて行けなくなった。
時間延長	・時間を延長して欲しい。
学習支援	・児童クラブで宿題ができるようにして欲しい。

長期休業の利用	・定員オーバーで長期休業中の利用ができない。 ・長期の休みだからこそ朝～夕方までのこどものみにすることへの不安が大きく利用希望者が多いのは当然。早急に対応して欲しい。
事業者間のバラツキ	・事業者によって内容が違いすぎる。
おやつへの配慮	・地産地消やその土地のものなど、お菓子の提供に配慮してあると良い。
病児・病後児保育	・病児の受け入れ場所に困った事があった。 ・病児保育に預けなくても良い社会にすべき。 ・手続きをもっと簡素化して欲しい。
ひとり親世帯への支援	・ひとり親家庭に支援をして欲しい。どんな支援があるのか情報を届けて欲しい。 ・ひとり親が安心して子育てできる支援を充実させて欲しい。
障がい児支援	・障がいのあるこどもへの配慮ともに、保護者への支援・ケアも必要だと思う。 ・障がい児を預けることができる施設を充実して欲しい。
学校関係	・こどもをよくみていただいております感謝している。
タブレット学習	・重いのでこどもには負担が大きい。 ・学校で十分に活用されていないように感じる。 ・家に持って帰ってまでやる必要があるか。文字を書くこと、読むことのほうに力を注いで欲しい。
学校環境	・トイレをきれいに整備して欲しい。 ・いじめのない、安心して楽しく通える場にして欲しい。
校区	・学区外でも入学できるようになると良い。
教育のあり方	・いじめや不登校へ対策が理解不十分な先生が多いように感じる。 ・幼児施設と学校施設がこどもの情報を共有し、個性を大事した教育をしてもらえると良い。 ・「勉強も部活も頑張ってるのが当たり前」と思うことが不登校を増やしている気がする。 ・学校に躰や環境教育、スポーツ、情操教育など全てを求めすぎている。 ・学校に行かない選択をしていることも認めて欲しい。 ・体験活動を充実させて欲しい。
少人数学級（学校）	・小規模の学校ばかりで、こどもの社会性が育っていくか不安な面が大きい。 ・少人数の良い面もあるが、今後ずっと複式学級で過ごしていくことについて親としては不安がある。
学校支援（教員支援）	・学校の職員を増やし、先生がこどもに寄り添いやすい環境にして欲しい。
不登校	・様々な支援、サポートがあり大変ありがたく思っている。 ・不登校のこどもが多いことが心配。様々な支援があると良い。 ・不登校になった際に対応できる体制を整えて欲しい。（オンラインを出席と認める、フリースクールをつくる等） ・不登校の子の親にも目を向けて支援をして欲しい。
部活動	・部活動の種類が少ない。
インクルーシブ教育	・インクルーシブ教育の推進をして欲しい。互いの違いを知り、認め合えるような社会であって欲しい。
保護者参加	・行事の時短や有無の検討が急務。 ・児童数が少ないため、PTA等の負担が大きすぎる。 ・学習会への不参加が多い人への働きかけが必要。
通学	・距離が遠く、歩いてこどもが行きたがらない。熱中症も心配。バス希望者はバス通学にして欲しい。 ・安全確保に向けて対策して欲しい。（動物対策、植物の剪定、外灯整備、防犯カメラ設置等）
給食	・豊かな食を活かし、地産地消率のばらつく給食内容を一律にして欲しい。 ・始業式、終業式の日も提供して欲しい。
習い事・学習支援	
習い事の支援	・習い事に対しての人的、金銭的サポートがもう少しあると良い。 ・小さい頃からしているスポーツを続けたいが身近なところでは難しい。遠征に支援（補助）があると続けやすい。
学びの場	・低額・無料の学びの場があると良い。 ・こどもたちが集まって学習できる自学スペースがあると良い。 ・教職をリタイヤされた方などで放課後の勉強会などに力を入れて欲しい。
施設までのルート	・習い事が自分で行ける安全ルートを整備して欲しい。

こどもの居場所	全般	・どのようなこどもでも安心・安全にすごせる場を等しく保証して欲しい。 ・送迎付きで、こども同士で安心して過ごせる場があると良い。 ・平日でも、長期休業中でも、児童クラブ以外のこどもの居場所があると良い。 ・スクールバスを利用すると放課後に友達と遊ぶ場や時間がない。地区単位で預かりの場があると良い。 ・日曜日のこどもの預け先があると安心。 ・核家族化が進んでおり、こどもを安心して預けられる場があると良い。
	おんせんキャンパス	・おんせんキャンパスというこどものもうひとつの居場所があるのでとても良い。 ・おんせんキャンパスのような場所を増やして欲しい。 ・おんせんキャンパスを使っていた。今できることを大切にしてもらいとても良かった。親子で救われた。
	高学年	・学校から帰ってから過ごせる場所があると良い。 ・安心して過ごせる長期休業中の居場所があると良い。 ・平日の放課後、友だち等と集まれるような居場所があると良い。
医療	医療機関	・小児科が少なく不安。 ・小児科と皮膚科があると良い。 ・こどもが病気になったときに安心して医療機関に掛かると良い。
	医療相談	・気軽に医療相談ができるような環境づくりを行ない、安心して子育て出来るような市になって欲しい。
施設整備・運営		・地域の園（こども園）にもっと入園を促せると良い。 ・保育所に通いたいと思う人が1人でもいる間は、休所をしないで欲しい。 ・保育所、幼稚園、放課後児童クラブ等の施設が、面積や設備の面で十分ではない。
住宅支援		・住宅を増やして欲しい。 ・若者向けの住宅を整備して欲しい。
保護者の負担感	負担感	・休日は休む事ができず、身体的に負担が大きい。 ・こどもとの時間の大切さはわかるが、核家族にとって、子育てから離れる時間も大切に感じる。 ・こどもの迎えなどで時間がしばられ、余裕、ゆとりがない。
相談体制	開設日	・相談先が平日の日中しかやっていないので気軽に相談できない。
	相談機関	・こどもが小学生になり支援センターに行けなくなったため、相談できる場所を探すのに困った。 ・気軽に相談できる環境を整えて欲しい。 ・子育てと介護のダブルケアラーが気軽に相談できる場所が欲しい。 ・機関同士連携を図って欲しい。
男女共同参画		・妊産婦、乳幼児の検診や保健指導の時に、必ず配偶者（いる人は）と2人で指導を受けていけば、母親だけのワンオペ育児にならずに済んだように思う。 ・現在の子育て世代の男性は、子育て、家庭参加する父親像を手探りで探している世代。各自頑張って参加している姿勢を認める環境、土壌が必要だと感じる。
	意識啓発	・LGBTや、ジェンダーによる役割の平等など、こどもは当たり前の感覚でいてほしい。地域に向かって啓発を行って欲しい。 ・女性の育児・家事負担が圧倒的に重い。ジェンダーレス教育をもっと積極的に取り組んで欲しい。
アンケート	方法	・紙媒体ではなく、PC・スマホで回答できるようなフォームにして欲しい。 ・きょうだいがいればまとめた回答にして欲しい。 ・疾患があり、市内の施設に通っていない子の保護者からするとアンケートが合っておらず残念。
	結果の公表・反映	・アンケート結果を公表して欲しい。 ・成果を見える化するべき。 ・今までに意見や要望が反映された実感が無い。意見を活かして欲しい。